

研究課題名	次世代シーケンス技術を用いたC型肝炎の直接作用型抗ウイルス薬による治療後病態に影響をおよぼす因子に関する研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院消化器科
研究責任者	所属 消化器科 氏名 黒崎 雅之
研究期間	(西暦) 2019年 4月 ~ 2025年 3月
研究の意義・目的	本研究の目的はdeep sequencingによりC型肝炎ウイルス遺伝子を検索し、治療反応性および治療後経過との関連を検索することである。AMED研究班「肝炎等克服実用化研究事業 肝炎等克服緊急対策研究事業 次世代シーケンス技術を用いた C 型肝炎の直接作用型抗ウイルス薬による治療後病態に影響をおよぼす因子 に関する研究」(榎本班)の分担研究として行う。
研究の方法 (対象期間含む)	C型慢性肝疾患で治療を受けた症例の血清を用いてC型肝炎ウイルス遺伝子をdeep sequencingにより測定し、治療反応性・副作用発現・経過に関連するウイルス遺伝子発現を解析する。 対象期間： 2019年4月から2025年3月31日
①試料・情報の利用目的及び利用方法（匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む） ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	①血液からC型肝炎ウイルスRNAを抽出し、RT-PCR法によりウイルス遺伝子を増幅する。PCR増幅産物を基に、次世代シーケンサーによりHCV ウイルス変異を決定する。患者データは匿名化されたうえでデータ処理を行うため、個人が特定されるデータは用いない。 ②通常診療で行う採血の際に研究用血清検体の採取も合わせて行うか、あるいは残余検体を使用する。血液学的検査結果、放射線画像検査（US、CT、MRI）結果、予後：発がん、肝機能の推移、肝硬度の推移、臨床背景などの情報を用いる。 ③消化器科部長黒崎雅之、副部長板倉潤 ④責任者：消化器科部長 黒崎雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 武蔵野赤十字病院 消化器科 氏名 黒崎 雅之 TEL：0422-32-3111（代表）6812（事務局内線） FAX：0422-32-3525